

2023年5月12日

各位

会社名 辻製油株式会社
代表者 代表取締役社長 辻 威彦
問合せ先 財務経理部部長 菱田 貴之
(電話：0598-30-5517)

昭和産業株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

辻製油株式会社は、昭和産業株式会社（以下「昭和産業」とします）との間で、製油事業に関する資本業務提携（以下「本資本業務提携」とします。）を行うことについてお知らせいたします。

記

1. 本資本業務提携の理由

当社は、コーン油・菜種油を中心とした製油事業に加え、レシチンなどの機能性事業やアグリ事業を展開し、昭和産業は、製粉、製油、糖質、配合飼料などの幅広い事業を展開しています。

昨今、円安による輸入食品や原材料の価格上昇、少子高齢化に伴う消費量の低下、消費志向の二極化における日常食料品への価格志向の高まり、宅配サービス等の新たな市場の成長等、市場を取り巻く環境は大きく変化しております。

今後は、より一層の需要拡大、商品の安定供給および商品原料の安定的調達、付加価値ある商品の提供等を実現するため、素材、研究開発、マーケティング、生産、販売ネットワークなど、すべてのバリューチェーンを強固にすることが求められます。

上記の観点から、製油・糖質事業での連携を中心に、双方にとって競争力強化が見込まれる分野において、協同し取り組むことを目的として、両社は昨年8月に業務提携に合意しました。

両社は協業関係を一層発展、強化し、長期的かつ深いパートナーシップを構築することで、国内における事業展開を加速させるため、本資本業務提携を行います。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

① 製油・糖質事業連携による事業拡大と製品の安定供給体制の確立

当社・昭和産業グループのコーンジャーム搾油設備・コーン油精製設備と、昭和産業グループで製造し、コーン油の原料となるコーンジャーム（とうもろこし胚芽：糖質製造の副産物）との有効活用による事業規模の拡大、製造の効率化、コスト低減、糖質・コーン油製品の安定供給を図ります。また、菜種の搾油・精製設備についても相互で有効活用し、同様の目的を図ります。

② 原料、資材の効率的調達

搾油原料、容器包装資材、工場副資材の共同調達により、コスト低減を図ります。

③ 物流拠点・ネットワークの共同活用

物流拠点・ネットワークの共同活用により、物流業務の効率化、コスト低減、製品供給の安定化を図ります。

④ 製品・サービスの付加価値・顧客満足度の向上

製品の相互供給、研究・開発・技術における相互協力を実施することで、付加価値の高い、安全・安心な製品の供給を図ります。

⑤ その他、双方にメリットのある経営資源の有効活用

(2) 資本提携の内容

当社は、昭和産業が当社株式の発行済株式総数に対する割合 20%を保有する予定となり、昭和産業の持分法適用会社となります。

3. 本資本業務提携における両社の概要

商号	辻製油 株式会社	昭和産業 株式会社
事業内容	コーン油、なたね油、各種レシチン、各種レシチン製剤、セラミド（とうもろこし胚芽由来）、養魚用油脂、天然香料、フレーバーオイルなどの製造・販売および研究開発	小麦粉・植物油・糖化製品・二次加工食品などの製造販売、配合飼料の販売、倉庫業、不動産の賃貸
設立年月日	1947年 4月	1936年2月
本店所在地	三重県松阪市嬉野新屋庄町 565-1	東京都千代田区内神田 2丁目2番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 辻 威彦	代表取締役社長執行役員 塚越 英行
資本金	30 百万円	14,293 百万円

以上